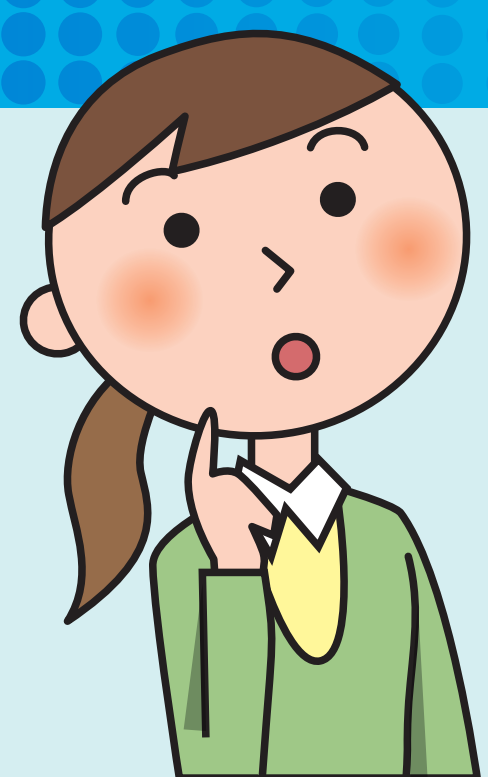


エシカルコンシューマーになろう!



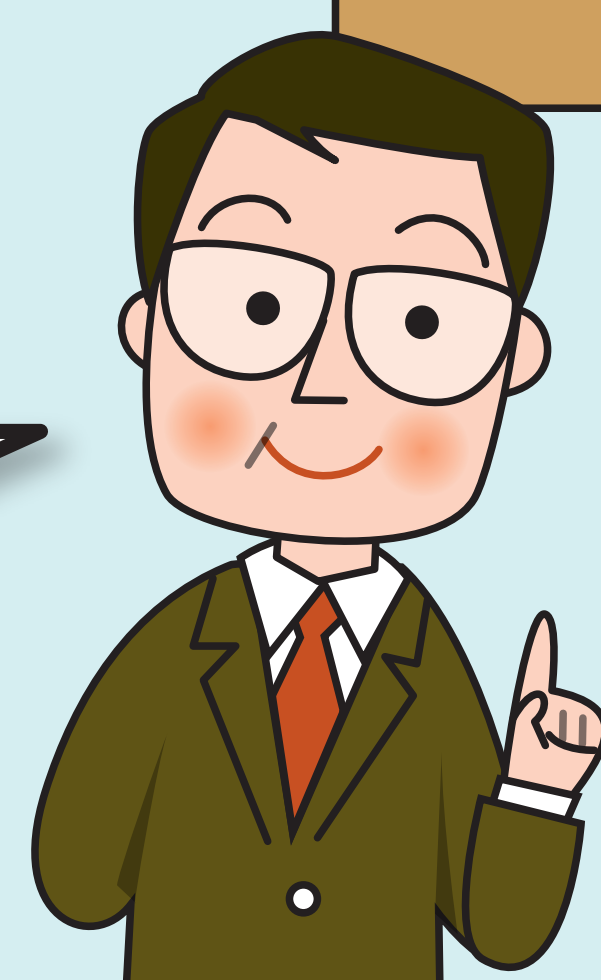
最近、「エシカル消費」とか「エシカルコンシューマー」って言葉を時々聞くけど、それってどういう意味かしら?

エシカル消費(倫理的消費)とは、地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動(消費者基本計画より)です。エシカルコンシューマー(倫理的消費者)とは、例えば買い物をするとき、価格や品質だけでなく環境への負担や人権、労働条件など社会的な背景まで考慮して商品や企業を選ぶ人のことをいいます。

お答えします!



「エシカル」って、確かにちょっと分りにくい言葉ですね。日本ではまだまだなじみが少ない言葉ですが、これからますます重要になるので、是非知っておいて下さい。ちなみに消費者庁では「エシカル消費」を啓発活動の場面や対象に合わせて「つながる消費」や「まごころ消費」といったわかりやすい言葉で表現し、活用して下さいと
(消費者庁「倫理的消費」調査研究会より)



エシカルっていいことみたいだけど、いま、どうしてそんなに“重要”なのかなあ?

このままだと地球が...

それは私がお答えします!



人々が今までどおりの消費生活を続けていくと私(地球)が持続不可能になるかもしれない...からです。

化石燃料の枯渇
(エネルギー問題)

食品ロスと食糧自給問題

地球温暖化

海水温度の上昇

砂漠化

地表面積の減少

異常気象

ごみ問題

富の独占
(貿易の不均衡)

購入することは、選挙で1票投票することと同じです。

...だから、これらの問題に配慮した商品を買う(支持する)ことが必要なのです!

さあ、あなたもエシカル消費をはじめて、エシカルコンシューマーになりましょう!



そうなのね。そういえば、消費者庁で「倫理的消費」調査研究会が平成27年から始まったと聞きました。これからは、国や政府の動向もチェックするとともに、毎日の生活でも、地元の野菜を買ったり、フェアトレードのコーヒーを飲んだり...できることから、私もはじめてみるわ!

「エシカル消費」については...

消費者庁 倫理的消費

検索

Check!